



新たなネーミングでデビュー オリジナル水稲品種

■「いわて純情米」に新しい2つの品種加わる

県では、良質でしかも「健康で安全」な米を求める消費者の声にこたえて、豊富に有機質を用いた農業の使用回数を抑えた米づくりを進めている。こうして生産された「ササニシキ」「ひとめぼれ」「あきたこまち」を「いわて純情米」という産地ブランドで売り出している。

この「いわて純情米」に新たに本籍岩手県の2品種が加わった。「かけはし」と「ゆめさんさ」である。県が独自に開発した水稲品種「岩手34号」と「岩手36号」の新しい名称として、昨年秋に名称を公募し、全国から寄せられた16万3千通の中から命名されたものだ。

9月19日、盛岡市内のホテルで行われた名称発表会では、県内関係者のほか全国から米穀卸などの

流通業者も参加し、新しく市場にデビューした「かけはし」と「ゆめさんさ」に高い期待が寄せられた。

「外米の緊急輸入で、米の消費が落ち込んでいる。同業者（流通関係）の話でも7、8割という状況にあるようです。新米の時期を迎えたわけですが、消費者は新米の国産米を待っています。このような中で岩手の新しいお米が発表されたことはタイミング的にも非常にいいと思いますし、また、このような天候で食味もかなり期待できる。「いわて純情米」シリーズに話題の品種がデビューしたことで私どもの商売の機会も増えました。その意味合いでも感謝申し上げたい」との卸売業者の話は印象的だ。

独自開発の品種が「いわて純情米」に加わったことにより“米どころ岩手”がさらに強くアピールされるに違いない。

■ネーミング発表に花を添えた沖縄県の助力と交流

名称発表が県内各地での新品种の収穫を背景に名実共に市場にデビューすることができた場合には、冷害で確保できなかった本年産用種子の緊急増殖を快く引き受



▲「岩手県オリジナル水稲品種名称発表会」に来賓として列席した大田沖縄県知事（中央）

けてくれた沖縄県関係者の助力を抜きに語ることはできない。

名称発表会には、来賓席に座る大田沖縄県知事をはじめ沖縄県関係者が列席した。産地間競争が激化する中で、県境を越えた支援とそれを契機として始まった両県のさまざまな交流という心温まるエピソードが岩手34号と岩手36号の新しい名前の門出に花を添えた。

大田沖縄県知事は祝辞の中で、「沖縄県と岩手県の今後の交流をよとするかのように岩手34号が『かけはし』と命名されたことをうれしく思います」と述べるとともに「岩手県と沖縄県は2,500キロ離れた遠隔の地ですが、今回の種もみ緊急増殖事業を縁に、農業技術はもとより経済、観光等多くの分野で交流の輪を広げることを切に念願する」と今後の交流に期待を表明した。また、緊急増殖事業の成果として、「岩手の進んだ水稲の栽培技術に接し、沖縄の生産農家は大いに啓蒙された」とし、岩手の技術と温暖な気候を生かすことで、沖縄が超早場米の産地として開けることを期待しているとも述べた。

米どころ岩手の「けん引品種」として期待される「かけはし」と「ゆめさんさ」にふさわしい「豊穰」な話題をふりまいてのデビューといえそうだ。



◀沖縄産「岩手34号」が見事に実る石島谷町の大区画ほ場を訪れた石垣島の水稲栽培農家の一行（9月14日）。「私たちが送りました種もみが実って、素晴らしい豊作になって非常に喜んでおります」と、一行の一人南清さんは語ってくれた

KAKEHASHI

いわて純情米

かけはし (系統名 岩手34号)
パッケージデザイン

【特徴】

- 寒さに強く、粒がやや大きく、白くてふっくらした炊き上がりが特徴のおいしいお米。
- 【名称選定の理由】**
- このお米は、種もみの緊急増殖を通して、沖縄県と岩手県の交流のきっかけとなったもの。
- 『かけはし』は虹や夢を想起させ、その一方で、力強い語感を持ち、岩手の生産者がこのお米にかける情熱と意気込みを表わす。
- また、盛岡出身の国際人・新渡戸稲造の「願はくはわれ太平洋の橋とならん」にもつながり、岩手の独自性を主張。
- このお米には消費者の皆さんと生産者とのきずなとして、未来を切り開いていきたいとの岩手の願いが込められている。
- このように、このお米が、自然との、人と人との、地域と地域との『かけはし』になってくれることを期待して名づけられた。

いわて純情米

ゆめさんさ (系統名 岩手36号)
パッケージデザイン

【特徴】

- 登熟力が抜群で、粒がやや大きく、白くてほど良いねばりの飽きないおいしさが特徴のニュータイプのお米。
- 【名称選定の理由】**
- このお米のおいしさを、『ゆめさんさ』の語感が持つ優しさ・上品さ・明るさにマッチさせた。
- 「ゆめ」は、宮沢賢治が思い描いた田園と風と光に満ちあふれた夢の世界（イーハトーヴォ）にもつながる。
- 「さんさ」は、岩手に踊り継がれてきた「さんさ踊り」に由来。また、自然に恵まれた岩手の大地にさんさんとふり注ぐ太陽をも表す。
- このように「ゆめ・さんさ」は岩手のアイデンティティであることから、産地の期待を込めて夢がふくらむ「ゆめさんさ」と名づけた。
- 「ゆめ」又は「さんさ」というニックネームで広く親しまれるお米でありたいという岩手の願いが込められている。